

# 平成25年度 学校評価

学校教育目標「心豊かにまなび続ける子の育成」

めざす子ども像「自ら考える子 思いやりのある子 健康でがんばる子」

研究テーマ「意欲を持って、自ら学び続ける子をめざして」 サブテーマ「確かな学力の定着と向上を図り、算数的表現力を育てる授業の創造」

## 学校教育に関する重点取組

### 1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 授業の改善に取り組み、学力向上を推進する	3.5	・生活点検による基本的な生活習慣の確立 ・全校で「毎日の算数」に取り組み既習事項の定着や文章題で思考力の育成を目指す	・長期休業護の生活リズムづくりに役立った ・計算問題はできるが活用問題は苦手な児童が多い 学習習慣付けができた ・基礎学力がついてきた	3.5	・今後も学習習慣作りを家庭と連携する ・サマースクールを続ける ・「毎算」を継続する 活用問題も入れる ・毎算の問題をデータベース化し活用する ・研究授業で授業改善を継続する ・講師招聘による授業研究を充実させる ・個やペア、グループ、クラスで考え、交流する場面を作る ・高学年のクラスを到達度別に分け、どの子の力もそれぞれ十分に伸ばす時間を作る ・学びの連続を意識した幼小中連携を行う ・日程調整を柔軟かつ大胆にする ・個別指導計画を立て個に沿った指導・支援をする、 ボランティアをより有効活用する
(2) 校種間の連携に取り組み、滑らかな成長を推進する	3.5	・サマースクール開校 ・校内研究による授業改善の取り組み ・授業パターンの実践	・事後研究では年々活発な意見交換が行われ、授業改善に役立っている ・グループ学習を通して、友だちの意見や考えを共有し、全体で発表できる児童が増えた		
(3) 特別支援教育の充実に取り組み、自立や社会参加に向けた主体性を育成する	3.5	・異校種授業交流 ・小中合同研修 ・親睦会	・小中での授業を参観することや研修で相互理解が深まった、教師の意識変化が見られた		
		・公開授業 ・児童理解職員共通理解研修 ・交流と独自の場のバランスをとった	・小中で一貫した取り組みが必要 ・支援すること、独力で頑張らせることを共通理解し一致協力して取り組めた		

## 2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 道徳性の涵養に取り組み、良好な人間関係づくりに努める	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳、学級経営を通じていじめを許さない学級指導を展開</li> <li>・保健室のドアの開放、児童が相談しやすい体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深刻ないじめ問題は発生せず、良好な人間関係づくりを継続指導している</li> <li>・指導の様子把握ができた、職員間の共通理解ができた</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域、学校連携の「子育て講座」がよかった、子どもにも「子ども人権講話」がよかった、友達の気持ちを大切にすることを差認識した、来年度も行う</li> <li>・「いいところ見つけ」は自尊感情を芽生えさせる、継続する</li> <li>・道徳、人権の全校公開授業を行う</li> <li>・学校全体で情報を共有して今後も取り組む</li> <li>・不登校に関係機関の支援をしてもらうよう働きかける</li> <li>・児童理解研修、年2回を今後も継続する、年度の早い時期に1回目を行う</li> </ul>
(2) 基本的な生活習慣の確立に取り組み、問題行動の未然防止を図る	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内放送や朝会による生活習慣の呼びかけ</li> <li>・今月の目標の掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任や専科教員、職員智相談し、課題を共有し、学校全体で取り組めた</li> </ul>		
(3) 相談体制の充実に取り組み、不適応行動への早期対応及び長期欠席の抑止・改善を図る	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で、児童の心の声を聞けるよう心がけている</li> <li>・時間を空けず電話連絡、家庭訪問</li> <li>・長期欠席児童への電話や訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の心が穏やかになり問題解決がスムーズになっている</li> <li>・本人の顔を見、声を聞いて穏やかな関係を築いている</li> <li>・中学校との連携で情報が増えた、保護者対応もスムーズにできた</li> </ul>		
(4) 進路指導の充実に取り組み、社会的自立に必要な能力を育成する	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席がちな児童は兄弟関係から中学校と連携し状況確認を行った</li> <li>・職員共通理解研修の実施</li> <li>・訪問職員との連携</li> </ul>			

## 3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 食育を通じた生活改善に取り組み、望ましい生活習慣を育成する	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室での保健指導「朝ご飯の秘密」を学年に応じて実施</li> <li>・定期的な給食だよりの発行</li> <li>・栄養バランスを考えた食育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活全般の指導に繋がって、生活習慣の基礎が作られた</li> <li>・アレルギーへの対応が教職員で連携できた</li> <li>・ランチルームでの楽しい食事を通して、好ましい人間関係を育てた</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校通信、保健便り、学年便り、学級便り等で、適宜基本的な生活の大切さを訴えていく</li> <li>・懇談会等保護者が集まる場で、折々訴えていく</li> <li>・生活習慣を継続し、児童自身が自らの健康や命を守るように育成する</li> <li>・アレルギー対応が校内でマニュアル化したことを受けて、今後の取り組みの指針とする</li> </ul>
(2) 体育・スポーツ活動の充実に取り組み、体力・運動能力の向上に努める	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐寒マラソンの実施</li> <li>・縄跳び大会の実施</li> <li>・水泳記録会</li> <li>・連合体育大会</li> <li>・小学生陸上競技会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止に努めながら体力を向上させることができた</li> </ul>		

#### 4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)安全教育の充実に取り組み、登下校及び校内の安全確保に努める	3.5	・大切な体を守る保健指導「プライベートゾーン」を学年に応じて実施 ・集団登校指導・地区別下校指導の実施	・登下校時の防犯教育にも繋がった ・安全の確保ができた ・集団登校しない児童への個別指導が必要 ・下校指導が不十分	3.5	・地区児童会で集団登校の話し合いを持つ ・地区担当教諭による集団登校時の課題への即刻対応 ・自転車教室・交通安全の開催 ・より実践的な避難訓練の実施の工夫
(2)防災教育の充実に取り組み、危機管理能力の向上に努める	3.5	・自身が身の安全を守るための休憩時間中を想定した避難訓練の実施	・避難がスムーズにできた		

#### 5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)地域資源の活用に取り組み、開かれた学校園づくりに努める	3.5	・地域・保護者の見守り隊との毎日の交流 ・地域の畑でイモを栽培している ・地域の盆踊りに教職員有志の参加	・学校行事への協力も有り難い ・手入りが任せきりになっている ・児童会の音頭が地域でも踊られた	3	・地域・保護者との連携を継続・強化する 全職員で共有する 感謝の心を持つ ・今後も学校評議員の構成メンバーを工夫し 多角的な評価を得られるようにする ・適時アンケートで保護者の意見を聞く ・学校評価の実施 ・研究による授業改善の取り組みの強化と研修の充実 ・一人1研究の実施 ・タブレット活用授業の実践の継続 ・幼小中連携の組織作りと活用 学びの連続を模索する
(2)学校評価の活用に取り組み、学校運営の改善を図る	3	・各行事ごとに反省を十分に行っている ・PTAによる行事の反省を行っている ・学校評価を次年度に生かしている ・各部・各学年の取り組みの成果と課題を追求	・行事の内容が年々充実してきている ・保護者の意見が行事に反映されている ・昨年度より効率化が進んだ		
(3)教職員の資質向上に取り組み、学校の組織力向上に努める	3.5	・初任者指導による授業・学級づくり研修 ・管外研修、市内他校の研究大会への参加 ・夏季研修の充実 ・管外研修で学んだものを全職員に報告 ・一人一授業の取り組み	・学習規律を意識した学級づくりができた ・活発な研修への参加があった ・教職員で各研修を運営し、多くの参加を見た ・他校の研究大会に学ぶ先生が増えている ・授業公開の機会が年々増えている		

## 教育目標

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開	3.5	・学年で情報交換・情報共有し、連携した学年づくり	・クラスを超えて児童が仲良し ・指導の統一が図られ、同じように指導するので指導が通りやすい ・自分の行動を振り返り考えることができた	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる学力向上を目指す</li> <li>家庭学習の習慣化を家庭との連携で全教職員で共通理解して取り組む</li> <li>兵庫型教科担任制の充実</li> <li>授業改善に向けた研究授業の継続、発展</li> <li>道徳教育、人権教育の充実</li> <li>「子育て講座」「子ども人権講話」の継続</li> <li>公開授業の実施</li> <li>心身の健康を目指す</li> <li>交通安全教室</li> </ul>
(2)教育目標の具現化と指導の充実	3	・怪我で来室の児童に、なぜかを考えさせる ・兵庫型教科担任制を行う ・授業改善	・他クラスの担任との関わりがあった ・話したり、説明したり、発表する機会を多く取り入れた		
		・道徳教育の充実 ・子ども達が意欲的に学ぶ課題や環境を設定する	・感謝の気持ちを持つようになってきた ・意欲的に学ぶ姿が見られた ・粘り強く取り組む姿勢に欠ける		

## 研究テーマ

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1)研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開	3.5	・表現力の育成に向けて全校で統一してルールを作り実践している ・ペア学習、グループ学習の取り入れによる全員参加の学習	・朝会での聴き方が良くなっている ・発表が苦手な児童も発表ができるようになってきている ・活用問題が苦手な児童が多い ・家庭で読書しない児童の割合が5割弱	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善、考える授業の確立を継続する</li> <li>表現力の定着と更なる向上を目指す</li> <li>少人数指導の更なる研究と充実を目指す</li> <li>国語科での取り組みの必要</li> <li>図書ボランティア(サンスマイル)の活用</li> <li>朝の一斉読書の継続と充実</li> <li>校内研究の継続</li> <li>話し方、聴き方の徹底</li> </ul>
(2)研究テーマの具現化と指導の充実	3.5	・意欲的に学ぶために児童の「？」を大切にしている ・授業パターンの統一 ・教材教具の充実 ・少人数指導の充実 ・朝の学習、家庭学習の充実	・児童が自分の考えを発表したり、他の考えを聞くことに慣れてきた ・ノート指導の研究がすすんだ		

--

評 価 内 容	評価 I	具体的な取組	成 果 ・ 課 題	評価 II	改 善 策